

HIF-PH阻害剤 –腎性貧血治療剤–

バフセオ[®]錠 150mg
300mg

製造販売承認取得のご案内

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社製品につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、低酸素誘導因子–プロリン水酸化酵素(HIF-PH)阻害剤「バフセオ[®]錠150mg, 300mg」(一般名:バダデュスタット)につきまして、腎性貧血の適応で製造販売承認を取得いたしましたので、ご案内申し上げます。

腎性貧血は慢性腎臓病(CKD)の早期のステージから発現し¹⁾、CKDの進展に伴いその頻度が上昇することが報告されています²⁾。貧血により組織への酸素運搬能が低下すると、疲労、息切れ、不眠、頭痛、活力の低下などが生じ、患者さんのQOL(生活の質)の低下につながります³⁾。また、貧血は腎不全の進行自体にも影響し、腎性貧血患者は末期腎不全に至るリスクも高いと報告されていることから⁴⁾、腎性貧血の治療はQOLの改善のみならず、生命予後の改善にもつながると考えられます。

今回の承認取得により、保存期および血液透析、腹膜透析を施行中のCKD患者さんに腎性貧血の新たな治療選択肢を提供するとともに、情報提供活動を通じて、患者さん一人ひとりの治療に貢献できるよう努めて参ります。

今後とも弊社へのご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

謹白

1) Iseki K, Kohagura K.; Kidney Int. 2007; 72(Suppl. 107): S4-S9

2) Stauffer ME, Fan T.; PLoS One. 2014; 9(1): e84943

3) Fishbane S, Spinowitz B.; Am J Kidney Dis. 2018; 71(3): 423-435

4) Mohanram A, et al.; Kidney Int. 2004; 66(3): 1131-1138

2020年6月

製造販売元

田辺三菱製薬株式会社

プロモーション提携

扶桑薬品工業株式会社